

令和6年塩竈市立病院事業調査審議会

会 議 録

塩 竈 市 立 病 院

塩竈市立病院事業調査審議会

日 時 令和6年8月20日（火）18:30～

場 所 塩竈市立病院 3階 会議室

次 第

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 会長及び副会長の選出

4. 審 議

(1) 令和5年度の取組状況について

5. その他

6. 閉 会

【出席者】

《出席委員（8名）》

藤 森 研 司（東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野教授）
赤 石 隆（宮城県塩釜医師会会長）
佐 藤 賢 一（東北医科薬科大学病院 病院長）
齋 藤 淳（宮城県保健福祉部医療政策課地域医療連携担当課長）
今 西 陽一郎（株式会社アイブレイン代表取締役・病院事業経営アドバイザー）
中 嶋 満 枝（市民代表）
千 葉 幸太郎（塩竈市副市長）
福 原 賢 治（塩竈市立病院事業管理者）

《欠席委員》 なし

《事務局など》

鈴 木 康 弘（事務部長）
渡 辺 敏 弘（経営改革室長兼業務課長）
庄 司 晃（医事課長）
鈴 木 有 美（経営改革室兼業務課経理係長）
堀 江 桂 弘（経営改革室兼業務課総務係長）
渡 辺 美 香（経営改革室兼業務課経理係主査）

《傍聴者》 9名

《報 道》 なし

1. 開会

2. 委嘱状交付

塩竈市長より委嘱状交付

3. 会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長に藤森委員、副会長に赤石委員が選出され、満場一致で承認された。

○藤森会長（就任あいさつ）

ただいま会長に選任されました藤森でございます。初めて塩竈市立病院を訪れ、右も左もわからない状況ですけれども、コロナ禍において公立病院は本当に頑張れた。そして今、平時に戻り、いわゆるコロナ補助金も終わって、これからは頑張り時となっていくと思いますので、市民に愛される病院となるように議論を深めていきたいと思います。よろしくお祈りします。

○赤石副会長（就任あいさつ）

副会長に選任いただきまして、誠に光栄に存じます。会長を補佐して頑張りたいと思います。ありがとうございます。

4. 審議

(1) 令和5年度の取組状況について

資料の1. 患者数・診療単価、医業収益の概要

レジメに基づき事務局より説明。

○藤森会長（以下、会長）

はい、ありがとうございました。委員の皆様、いかがでしょうか。

○委員

目標値の定め方に原則等があれば教えて頂きたい。

○事務局

平成28年度に新改革プランを作りましたが、入院については当時の診療単価をベースに設定しました。令和元年度に病棟再編を行いまして、診療報酬の見直しを行い、入院の診療単価は35,000円台と来ているところになっております。その診療単価を持ちまして病院の運営が成り立つ収益を得るための患者数をみたところ、一日当たり130人となりました。以上が病床数から見た入院収益等の目標設定になります。

一方、外来でございますが、平成28年度の策定当時の実績に基づき設定した診療単価が、10,800円でございます。これを院内目標として取り組んでございます。患者数につきましては、260人ということで、外来収益を得るために必要とされる患者数として設定しているところでございます。

○会長

はい、ありがとうございます。では、次の説明をお願いします。

資料の2. 新改革プラン数値目標の達成状況及び取組状況

レジメに基づき事務局より説明。

○会長

はい、ご意見やご質問等いかがでしょうか。

○委員

取り組み状況は年々前へ前へと進んでいて、すごく頑張っていることが伺える。前年比では診療単価に関しては素晴らしいと感じる。しかし、患者数はなぜ減少しているんだろうと思う。近隣の医療機関も減っているのかと思えばそうでもないのではないかと思う。周りの声を聞くと市立病院の評価は決して低くないのに、どうして患者が集まらないのか首をひねる。その点について、皆さんからの意見やアドバイスがあればいいと思う。新病院が建設されれば、ということもあるがそれだけではなく、何かいい方策があるといいなと思う。

また、先日公開セミナーを聞かせてもらった。とても分かりやすかった。福原先生の講演も好評だったと思う。そういった取り組みが今後も続けばいいなと思う。

○会長

はい、ありがとうございます。患者数について、入院外来共に少し減っているように見える

ということだが、その要因は何か、事務局からコメントいただければと思いますがいかがですか。

○事務局

定量的に図ったものではないが、入院外来については受診控えがあるかと考えています。また、入院については、入院件数については令和4年度とほぼ同数であります。在院日数が短縮傾向にあり延入院患者数の減少につながっていると考えています。外来につきましては、明確なところがなく、受診控え影響としかとらえられていないということが現状でございます。

○会長

塩竈市内全体の状況は、いかがでしょうか。

○委員

全体の状況としては分かりかねるが、近隣の一病院としては、外来も入院も減少していて苦労している。どこか増えている病院があれば教えていただきたいくらいである。

○会長

市立病院だけではないということですね。受療動向が変わったようにもみえますね。

○委員

資料を見させていただき、入院患者が減っているが、ある意味とても分かり易く減っているといえる。患者数が減少しているのは一般病棟であり、地域包括ケア病棟は増加している。また、救急患者や手術も増加している。軽症の救急患者等のいわゆるサブアキュートが増加しているのではと思う。その患者さんたちをどう扱うかということだと考える。

一方で、数値目標にはないので言いづらいが、地域包括ケア病棟の平均在院日数は22日前後で、通常より短すぎる。地域包括ケア病棟を活用しきれていないようにみえる。例えば、地域包括ケア病棟の病床稼働率は85%前後であるが、95%位いってもおかしくない。ということは、この改善だけでも地域包括ケア病棟だけでも収益は一割増につながる。

また、一般病棟であるが、市立病院が得意とする消化器内科、消化器外科を受け入れるのも大切だが、地域包括ケア病棟で診ていると思われるポリペクなどを急性期病床で診ながら、地ケアの在院日数のコントロールを行い、もう少し増収を図るということは、明日からでもできるポイントであるところの数字をみて思う。

○会長

今、入院料はいくつでとっていますか。

○委員

急性期一般病棟は4、地域包括ケア病棟は1です。

○会長

そうなると入院料があまり変わらないから、意図的に軽傷救急患者は一般病棟を介さず、地域包括ケア病棟にて直接受け入れ、地域包括ケア病棟を活用していることもありえるでしょうか。

○委員

地域包括ケア病棟で軽傷救急患者を直接受け入れているケースもある。

○会長

入院料4をとるとなるとそういった場面もあるかと思う。痛しかゆしの部分がありますね。

○委員

地域包括ケア病棟の稼働率が目標に達していないということですが、多くの病院はポストアキュート患者が多くいらっしゃると思う。しかし当院は残念ながら、療養環境があまりよくないため、仙台圏からのポストアキュート患者の紹介が当院に来るケースがあまりない。ということで、実質的には高齢者中心のサブアキュート患者を診る病棟になっている。もちろん60日ぎりぎりまで入院されるポストアキュート患者もいるが、サブアキュート中心で在院日数も短い傾向にある。非常に残念な状況である。

○会長

もう少しデータもみてみないと何とも言えないが、必ずしも入院料4にこだわらず入院料5に下げることがありえると思う。

○委員

地域包括ケア病棟を3病棟にするという考えはありますか？

○会長

まだ色々工夫ができそうな感じがしますが、今回はこのくらいにしましょうか。それでは次の項目をお願いします。

資料の3. 令和5年度決算見込みの概要

レジメに基づき事務局より説明。

○会長

ありがとうございました。ただ今の説明について、委員の皆様からご質問やご意見ありますでしょうか。

○委員

17ページの関係でコロナ禍の中、5年連続の黒字達成というところは評価できる場所と
思っている。一方で、今回MRIなど医療機器整備を行い、企業債の発行が大分増えている状況
であるが、今後の設備投資の見込みはいかがでしょうか。

○事務局

令和4年度に医療情報システムを導入し、今回放射線検査機器を更新したため、大型の医療
機器は大分更新したと考えている。一方で、現在精査中ではあるが、施設改修を今後どうするか
というところがあり、かなりの金額になる見込みです。その分で企業債の発行は増えるかと見込
んでいます。

○委員

聞きにくいことであるが、最近他の医療機関で時間外の未払い問題があったが市立病院はい
かがか。

○委員

本案件の医療機関についてコンサルをしている。状況としては、この問題については事なき
を得た。しかし、働き方改革で人件費が増え続けている。これまで黒字基調でいたが、ついに赤
字に転じている。直近の診療単価でいえば80,000~88,000円もあるが、設備投資や
人への投資も行っているため、働き方改革を契機に収支が悪化している。今病院あげて経営改善
に取り組んでいる。

市立病院については、今回の収支をみてよく頑張っていると思う。コンサルという立場から
様々な同規模病院をみているがどこもかなり苦しい状況である。その中で2年連続の経常収支黒
字は立派である。また、総務省は繰入金を除いた修正医業収支比率について自治体病院であつて
も85%位をクリアするよう掲げているが、市立病院は十分クリアしている。令和3年度から8
5%を超えていてとても立派であると思う。例えば他の医療機関では6割、7割の病院もある中

で、かなり頑張っているといえる。

しかし、先ほども申しましたが、もう少しできることはあると思う。その努力をここにいらっしやるスタッフの方にはぜひとも求めたいと考えている。

○会長

一般会計の繰入金の件だが、基準内外の内訳はいかがか。

○事務局

4億8千万円のうち、例年ですと約4億程度が基準内、8千万円ほどが基準外となっております。

○会長

そんなに市に迷惑かけておらず良いですね。また24ページ②の令和5年度4.0は何の数字か

○事務局

4.0は22ページの中段上の収益的収入の繰入額となっています。

○会長

ここも非常に良い数字で、ほぼ基準内で収まっていてとてもいい数字である。建物の減価償却も終わってきているだろうから、これからが正念場といえる。新築した医療機関では減価償却が苦しい事例もあるようだ。他、いかがでしょうか。

それでは、時間も迫ってきたのでこれで議論を終わりたいと思いますが、今回より新しい取り組みとして評価シートを改めさせてもらった。このシートに評価を記入いただき、事務局へもどしてもらいたいと思います。

5. 閉会

○事務局

以上をもちまして、本日の審議会を閉会とさせていただきます。

以 上

閉会 午後7時45分